

要請番号 (JL16620A02)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|-----|------------|----------|------|-------|------|-----------------------|
| パラオ | G182 小学校教育 | 20～45歳のみ | 個別 | 交替8代目 | 2年 | ・2020/2・2020/3・2021/1 |



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ペリリュウ小学校

3) 任地 (ペリリュウ州) JICA事務所の所在地 (コロール)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (船+車で約2.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

パラオにある17の公立小学校(別に私立小学校2校)の一つであり、中規模校に分類される。生徒は、1～8年生(6～14歳/7・8年生は日本の中1・2年生に相当)まで約60名。各学年1クラス。新年度は8月開始の4学期制。主要5科目(英語、算数、理科、社会、パラオ語)のほか、体育や保健(健康)の授業がある。パラオの公立小学校は全校で給食が提供される。現在2020年9月までの予定で海外協力隊を派遣しており、1～4年生への算数指導を行っている。ペリリュウ島(人口約500人)は太平洋戦争激戦地の一つであるが、島民は非常に親日的である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

パラオでは初等・中等教育における理数科学力が低く、特に幼少期に数字に触れる機会が少ないため、数の概念が身につけていない生徒が多い。また、パラオ国内には教員養成校が存在せず、教員免許制度も有していないため、教員間の指導力の差が非常に大きい。このような中、教育省は生徒の基礎計算力の向上を課題とし、算数科指導員の学校巡回指導による個別指導や研修会での授業研究等、小学校算数教育の改善に力を入れている。同校では、これまで派遣された協力隊員の活動を高く評価。その結果、教員経験が浅く教授法の知識が不足している教員に対する助言、教材開発、生徒の学力(計算力)向上が更に必要なことから継続した隊員の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1～4年生の生徒を対象に、同僚教員と協力して以下の算数の指導を行う
1. 同僚教員の行う算数の授業をサポートし、生徒への個別・反復指導を行う。(チーム・ティーチング)
2. 同僚教員とともに授業の振り返りを行い、教員の授業力向上・授業改善に向けた助言を行う。
3. 同僚教員とともに生徒の算数への興味・関心を引き出しつつ、学習者主体の授業に向けた教材研究を行う。
4. 当国JICA算数部会で作成した計算ドリルの活用・普及を行う。
5. 低学年を対象に、実際に算数の授業を担当する。
6. JICA算数部会に所属し、隊員間での課題や成功事例を共有し、教育省への提言を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、タブレット、プロジェクター、コピー機、インターネット環境あり

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 校長、一般教員(9名)、体育教員、特別支援教員、司書教員等。

活動対象者: クラス担任、1年生～4年生の児童約30名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (小学校教諭)

[学歴]: () 備考:

[性別]: () 備考:

[経験]: (実務経験) 2年以上 備考: 教員への助言が求められているため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (熱帯雨林気候) 気温: (25～35℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

隊員は、配属先が手配する家庭でホームステイをします。

【類似職種】

・数学教育

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。